

I ジョウゴグモ科 アトラス属の全種

【国内における確認状況】

- ・国内で見つかったことはない。

【生態：生息地など】

- ・夜行性で、甲虫やゴキブリ、トカゲなどを捕食する。
- ・枯れ木や石の下や割れ目などに営巣する。
- ・住宅街では、岩を多く配置した庭や低木が蜜な庭を好み、芝地などの開けた場所での営巣はほとんど見られない。
(いずれも海外事例を参考)

【形態：大きさや特徴】

- ・雌の体長は約 40-50mm、雄の体長は約 25-30mm
(体長とは、頭部の先から腹部の先までの長さであり、足の長さは含まない)。
- ・背甲には光沢があり、中窩^{ちゅうか}は深く曲がっている。
- ・背眼^{せがん}は頭部前方中央部に集中する。
- ・糸疣^{いといぼ}は 4 つあり、このうち後方のものが最も大きい。
- ・口器^{こうき}の中で下唇^{かしん}には短く、鋭くは無い棘^{とげ}が生えている。

【原産地】

- ・オーストラリア原産。

健康被害の具体例

- ・刺咬^{しこう}後 10 分以内に、悪心^{おしん}・嘔吐^{おうと}・腹痛^{ふくう}・発汗^{はつあせ}・流涙^{りゅうるい}などの症状が現われる。重篤な例では、全身痙攣^{けいれん}をきたし、呼吸困難に陥る。
- ・ジョウゴグモ刺咬症は、オーストラリアの代表的なクモ刺咬症で、抗血清生産以前の 1927 年から 1980 年までに少なくとも 13 件の死亡例が確認されている。

被害を受けた場合の対処法

- ・医療機関を受診

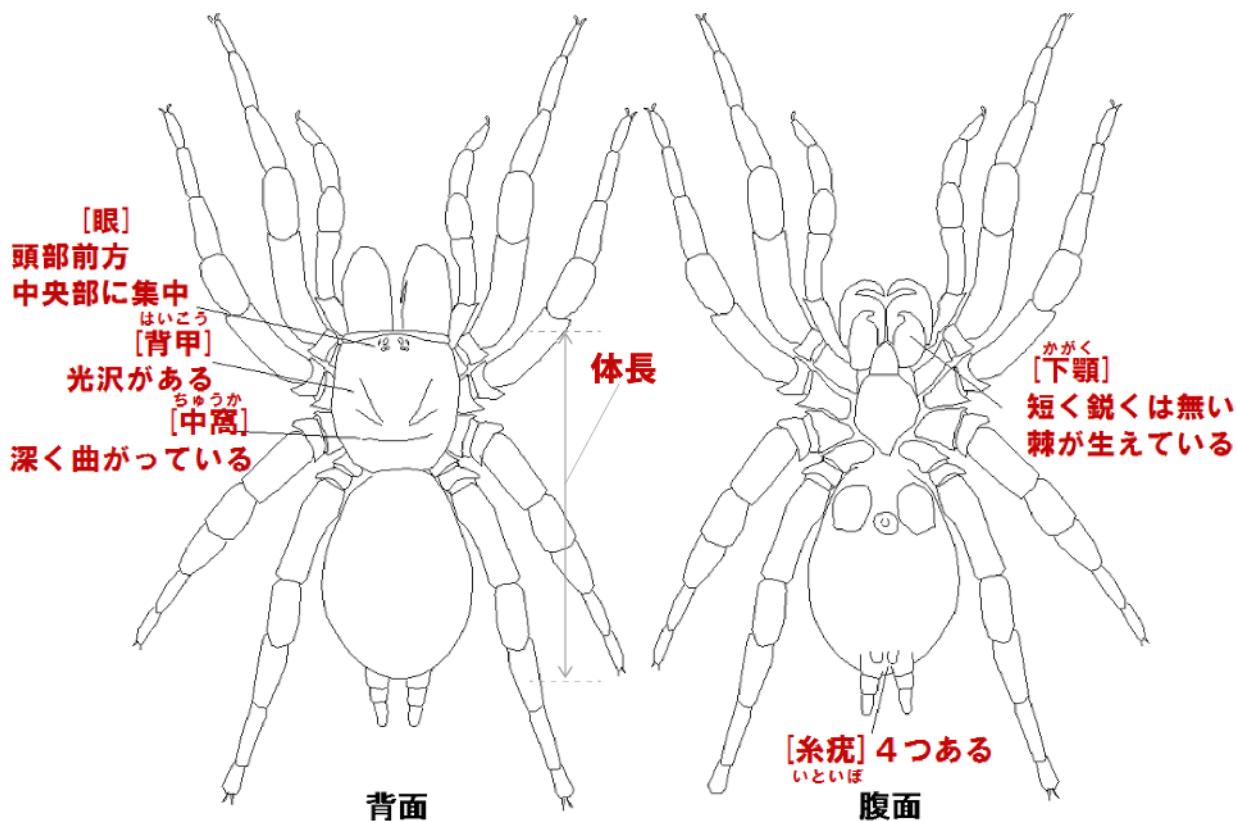


シドニージョウゴグモ（アトラス属の一種）

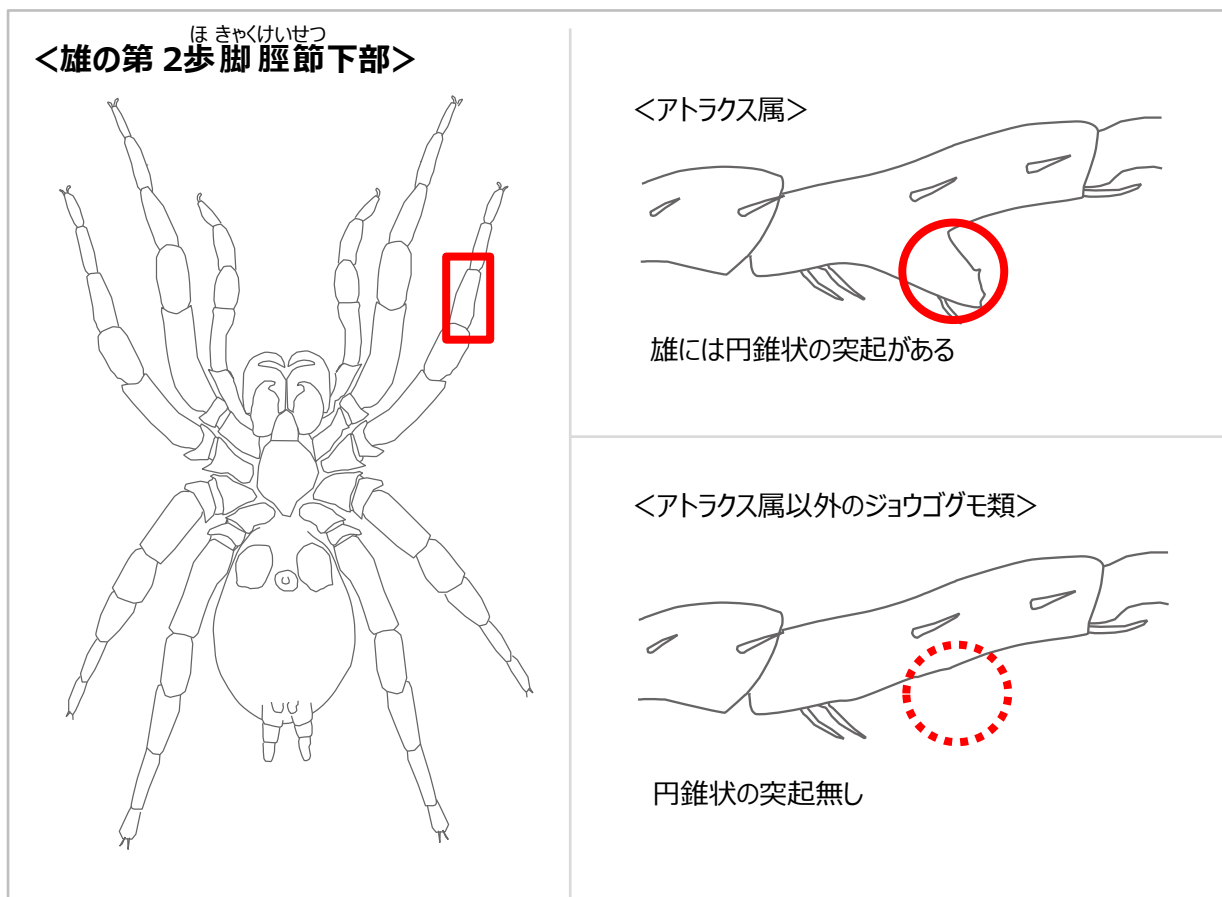
[“Atrax Robustus” Copyrighted free use, via Wikimedia Commons](#)

特徴・間違えやすい類似種との識別点

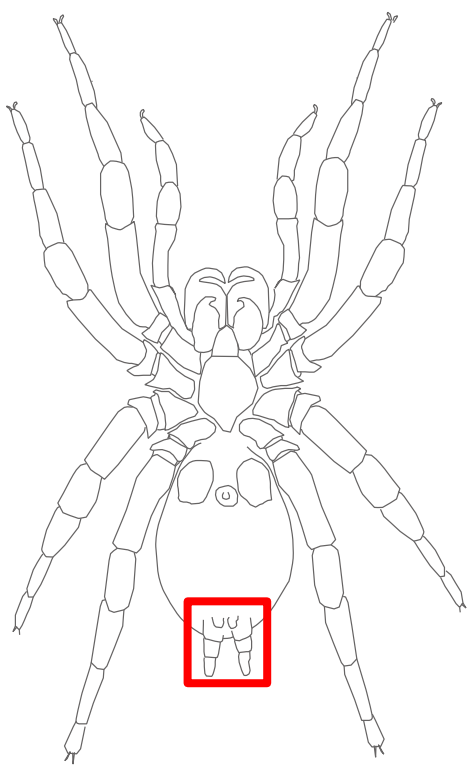
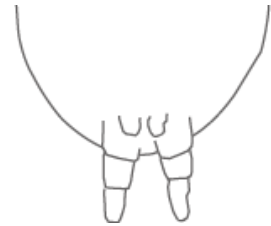

【アトラス属の特徴】



【間違えやすい類似種との識別点 (1)】



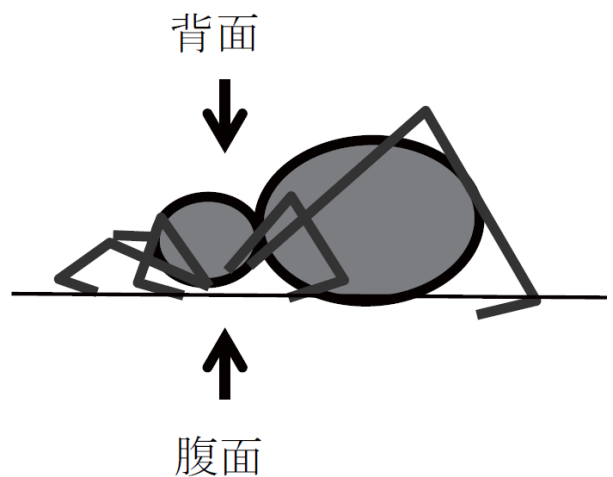
【間違えやすい類似種との識別点（2）】

	<p><アトラス属></p>  <p>国内にも分布するジョウゴグモ類 <i>Macrothele</i> 属と比較すると糸疣の後疣が短い</p>
	<p><類似種（国内にも分布するジョウゴグモ類 <i>Macrothele</i> 属）></p>  <p>糸疣の後疣が非常に長い</p>

【類似種】



【クモの体】（横からみたところ）



Macrothele calpeiana : スペイン南部原産で周辺国で外来種として定着

[Mygalomorphae, Macrothele calpeiana](https://www.flickr.com/photos/shannonmccoll/1211111111/) By shannon mcoll



駆除方法

- ・ピレスロイド系の家庭用殺虫剤を散布する。
- ・人家内では、ナフタリンを家具の隙間や中に入れておくと効果的である。



危険な外来生物 Web サイトへ

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379

[4]

このページの内容の一部は、Flicker 等が提供しているコンテンツを利用しており、クリエイティブ・コモンズの表示ライセンスに記載の条件に従って使用しています。

本サイト上の文書や画像等に関する諸権利は東京都に帰属します。本サイト上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。

Copyright©2016 Bureau of Environment.TMG. All Rights Reserved.